

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (廿日市市立阿品台西小学校)

- ① 教科等 算数科 ② 学年 第1学年
- ③ 単元名 いろいろなかたち
- ④ 本時の目標 物の形の特徴をとらえ、それによって身の回りの物をグループ分けすることができる。
- ⑤ 学習の流れ (2時間目/全4時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 既習事項を振り返る。 2 3つの立体を見て、形の特徴を話し合う。 3 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">かんやはこなどを3つのなかまにわけよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・箱や缶などの形の特徴を想起させ、黒板に提示する。 ・それぞれの形に名前を付けさせ、呼び方を決めさせる。(はこの形・つつの形・ボールの形) ・直方体・円柱・球の立体模型を提示し、3つの形の特徴を整理し板書する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にある物の形の特徴をとらえ、どの仲間に入るか考えることができる。〔数学的な考え方〕(発言・児童観察)
4 いろいろな箱を面の形や角、転がりやすさなどの特徴で仲間分けする。	<ul style="list-style-type: none"> ・形の特徴に視点をおいて、理由を考えながら分けさせる。 	
5 仲間分けしたことを発表し合う。 【発表の例】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">これは、つつの形のなかまです。なぜかというところ、ころがすこともできるし、つみあげることもできるからです。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、そのように仲間分けしたのか実物を示しながら理由を付けて発表させる。 ・理由が形の特徴に基づいているか考えさせる。 	
6 立体を手で触って判別するゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしてそう思ったのか理由を言わせ、形の特徴が言えたことをしっかり評価する。 	
7 まとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・形の特徴によって、仲間分けすることを児童の言葉を使って、まとめさせる。 	

【言語活動の充実】

設定した言語活動を通して育てたい力

- 仲間分けした理由を根拠をもって説明したり、友だちの考えを聞いたりする活動を通して、形を認識することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 既習事項を根拠にして考えることができるように、学習内容が分かりやすい板書を工夫する。
- 発表のための話型を示すことで、みんなが発表できるようにする。
- 相手にわかりやすいように、具体物を示しながら説明させる。
- 授業展開の目的に合わせ、ペア・グループ・クラストークを効果的に取り入れ、全員が伝える場をもてるようにする。